

【推進の柱1】効果的な情報発信と啓発活動

数値目標	目標	R6実績※	R5実績※
消費・生活相談室の認知度	60%	50.6%	50.3%

※ R5年度、 R6年度に実施した研修・出前講座の参加者アンケート結果

【推進の柱2】ライフステージに応じた「教育の場」の充実

数値目標	目標	R6実績	R5実績
消費者教育事業の実施回	4回/年間	7回/年間	4回/年間
出前講座派遣回数	24回/年間	17回/年間	13回/年間

【推進の柱3】担い手の育成と連携強化

数値目標（R5～R9）	目標※	R6実績	R5実績
消費者教育の担い手の件数	16団体	15団体	13団体
担い手と連携して事業を実施した教育機関の数	25校		

※ 第2次計画期間（5年間）の累計

第2次計画での新たな取組み内容

下線部あり

モニター表示あり

推進の柱	施策の展開	実施日	対象	内容	実績
推進の柱 1 効果的な情報発信と啓発活動	1 消費者教育に関する情報発信・啓発	4月～3月	市民	市報松江に「消費者教育ミニコーナー」を毎月、掲載 ※別紙、資料1-1 （令和6年度市報松江「消費者教育ミニコーナー」一覧） ※別紙、資料1-2 （令和6年度市報松江「特集ページ」）	78,000部×12か月
		4月～3月	市民	消費者見守りメール・公式LINEの配信（定期：毎月第2水曜日） ※別紙、資料1-3 （令和6年度「消費者見守りメール」一覧） 市内携帯ショップでの広報（NTTドコモ、ソフトバンク、au） スマホ教室での広報（松江市出前講座、地域おこし協力隊やさしいスマホ教室）	91回配信（定期・臨時） ※消費者見守りメール登録者数4,315人（令和7年3月27日時点） ※公式LINE（消費者問題に関する情報）登録者数2,099人（令和7年4月末時点）
		3月	市民	消費者教育に関する図書の紹介（中央図書館、島根図書館、東出雲図書館） 6～7月消費者教育図書のミニ展示（中央図書館）	112冊購入 ※貸出数 70冊、227回（令和7年5月14日時点）
		1月	市民（20歳）	松江市はたちの集いで啓発冊子を配布 「こんなときどうする？消費のギモンQ&A」	出席者1,488名
		4月～3月	市民	松江市公式SNSにより、松江市の消費者教育の取組みを広報 ※別紙、資料1-4 （令和6年度「松江市公式SNS」配信一覧）	42回配信
	2 消費者相談窓口に関する情報発信	4月～3月	市民	市役所内のモニターや市内各種団体の会を活用し、消費生活相談窓口の広報を実施 5月 松江市PTA連合会理事会、まちづくりにかかる連絡調整会議 6月 市役所内モニター 7月 島根大学、島根県県立大学でポスター掲示 8月 イオン松江ショッピングセンター、(株)ヤマトのサイネージ 10月 松江市民生児童委員協議会連合会常務会 11月 まるごう川津店、イオン松江ショッピングセンターで啓発グッズ配布 11月～ 市内郵便局でポスター掲示 12月 寺町サイネージ、市報松江12月号（特集2ページ）で広報 2月 市内公民館でポスター掲示 2月～3月 移動スーパーとくし丸での広報	市役所内モニター 1回 市内各種団体 3団体 サイネージ 3箇所 店舗 2箇所 郵便局 43箇所 公民館 29箇所 移動スーパー 9,300部
		10月～11月	市民	移動相談室の開設 10月24日 合同行政相談所で相談所開設 ・行政相談週間の取組（松江地方合同庁舎） ・相談4件 11月12日 移動相談室開設 ・イオン松江ショッピングセンター ・300名に啓発グッズ配布 ・相談1件	2回開設
	3 消費者からの意見の収集と消費者教育への反映	4月～3月	市民	研修や出前講座等で参加者にアンケートを実施	消費・生活相談室の認知度 （令和6年度に実施した研修・出前講座アンケート結果より） 消費・生活相談室が相談窓口であることを 知っている 50.6% 知らない 49.4%
	4 消費者と販売者・生産者の情報交換の場づくり	2月	市民	販売者・生産者との意見交換会 2月3日 株式会社永幸丸との意見交換会 （松江市消費者問題研究会の研修会）	参加者 27名
推進の柱 2 ライフステージに応じた「教育の場」の充実	1 幼児期からの消費者教育の推進	7月2日	幼稚園・保育所等職員	幼稚園・幼保園・保育所・認定こども園職員研修 講 義：「小学校の学びにつながる幼児期の消費者教育」～計画的なお金の使い方「金融経済教育の初歩」～ グループワーク：「日々の保育計画を見直し、小学校の学びにつなげよう！」 講 師：公益財団法人消費者教育支援センター 主任研究員 庄司 佳子 氏 ※研修の広報 5月：松江市保育研究会、6月：幼稚園園長会	参加者 14名
		4月～3月	幼稚園・保育所等	消費者教育事業 幼児向けの消費者教育教材を使った実践 教 材：「どっちにすてる？」 「すごろく」 「おみせやさんごっこ」 実 践：やつか保育園、御津保育所	2か所実施 5歳児 25名
		2月22日	幼稚園・保育所等の保護者	子どもの消費者トラブル防止のため、保護者を対象とした研修会を実施	5月市内保育所（園）、幼稚（保）園、認定こども園へ案内文送付 6月幼稚園園長会で案内

推進の柱	施策の展開	実施日	対象	内容	実績
推進の柱2 ライフステージに応じた「教育の場」の充実	2 学校等における消費者教育の推進		市PTA連合会に加盟する小・中学校PTA	子どもの消費者トラブル防止のため、保護者を対象とした研修会を実施 7月11日 松江市PTA連合会第3ブロック 講師：門脇直輝弁護士 9月27日 八雲中学校 講師：陶山勲弁護士 11月14日 忌部小学校 講師：門脇直輝弁護士 ※5月松江市小中学校PTA連合会理事会で広報	参加者 60名
		2月20日 11月29日 1月31日	小・中・高校生	<u>消費者教育事業</u> 学校へ外部講師（J-FLEC）を派遣 鹿島東小学校 5年生 13名 朝酌小学校 5年生 22名 講 座：賢い消費者になろう 「おさいふの中のやりくりから未来をかえる消費へ」 講 師：野々村 千映子 氏（FP、元小学校教員） 川津小学校 5年生 104名 講 座：おこづかいから学ぶお金の話 講 師：原井 久美子 氏（FP） 宍道中学校 3年生 65名 講 座：自分の人生やお金とのかかわりを考える 講 師：池原 元樹 氏（FP） 皆美が丘女子高等学校 3年生 89名 講 座：大人になる前に知っておきたいお金の話 講 師：遠藤 紀子 氏（消費生活相談員、元高校教員） ※J-FLEC講師派遣や授業の様子を中学校17校へ情報共有	小学校 3校 中学校 1校 女子高 1校
		4月～3月	小・中・高校生	教材の貸出 「悪質商法対策ゲームⅢ」「マークでカルテット」	美保関小学校、島根県立大学
		10月8日・9日	小学生と保護者	島根大学大学祭「親子で遊ぼう消費者教育！」 主 催：島根大学卓球同好会 教 材：「どっちにすてる？」「すごろく」「おみせやさんごっこ」「SDGsかるた」	参加親子 63組（こども102名）
		8月27日	中学3年生	18歳になる前に、成人するとできることとできないことを理解してもらうために、啓発チラシを配布 「成年（オトナ）になったらできること」	市内中学校と教職員 2,412部
		10月～3月	島根大学生・小学生	島根大学の「キャリアデザインプログラム」の履修生による放課後消費者教育を実施 プログラム履修生：島根大学1～3回生 6名 ※女子高へボランティア募集17名参加 教材：「すごろく」「お店屋さんごっこ」「SDGsかるた」 （再掲）10月8日～9日開催 島根大学大学祭「親子で遊ぼう消費者教育！」 11月19日 城東地区児童クラブ 12月21日 みんなの食堂（川津公民館） ※おしプロ募集の高校生ボランティア2名参加 1月14日 学童保育施設ウイズキッズKS-C校 2月12日 中央第2児童クラブ 3月13日 比津児童児童クラブ	6回開催 ※紙芝居 作成 「便利なスマホにも危険がいっぱいだゾ」 「お買い物にいくときには・・・」 ※カルタ 作成
	3 地域における消費者教育の推進	2月18日	市民	まつえ市民講座 「消費生活問題出前講座」 講 師：消費生活相談員 岡 利文 氏	参加者 47名
		4月～3月	市民	消費者問題出前講座の開催 4月17日 子育て支援センター 7月 8日 宍道子育て支援センター 7月21日 公明党松江総支部 8月 7日 東津田町東光台なごやか寄り合い 8月21日 白湯地区社会福祉協議会 9月 5日 花水木自治会 9月 6日 松江市持田公民館 9月11日 アクティブきたほり四季の会（家族会） 10月27日 黒田睦自治会 なごやか寄り合い 11月28日 東出雲地区民生児童委員協議会 12月10日 松江市消費者問題研究会 鹿島グループ 1月16日 島根県看護連盟松江支部08会 1月28日 北寺町なごやか会 2月17日 （再掲）まつえ市民講座 2月18日 鹿島子育て支援センター 3月 6日 中曽根地区見守り隊 3月15日 全国手話通訳問題研究会島根県支部 ※マーブル放送「まるまる松江 部長に聞く」で広報	開催数 17回 参加者 366名
		11月25日	松江地域における高齢者の見守りネットワーク事業登録事業者等	<u>松江地域における高齢者の見守りネットワーク事業協力事業者等のための消費生活研修</u> 講 義：「高齢者の消費生活における見守り活動の重要性」 ～日常業務を通じての見守り活動のポイントを知ろう～ 講 師：公益財団法人消費者教育支援センター 副主任研究員 河原 佑香 氏 ※研修資料及び「消費生活見守りサポーターHANDBOOK」を協力事業者（55事業者）へ送付	参加者 15名
		11月5日 1月10日	幼稚園・保育園・保育所・認定こども園	キッズマルシェ（野菜の値札貼り、陳列、販売、購入体験） 11月持田幼稚園 5歳児 5名 まるごう川津店 1月中央幼稚園 5歳児 5名 みしまや雑賀町店	2回開催
		3月	障がい者と関わりのある方	障がい者と関わる方へ、障がい者の消費生活の見守りに活用していただくため「障がい者の安心消費生活見守りガイド」を配布 ・相談支援事業所（※3月14日相談支援事業所連絡会で紹介） ・障害福祉サービス事業所 ・グループホーム ・松江市精神障がい者家族会協議会 ・松江市総合福祉センター	950部

推進の柱	施策の展開	実施日	対象	内容	実績
推進の柱3 担い手の育成と連携強化				小・中・義務教育学校、皆美が丘女子高等学校の教職員研修 講義：「学校における消費者教育・金融教育の考え方・進め方」 教材体験：「悪質商法対策ゲームⅢ」 （発行者：消費者教育支援センター） 講師：公益財団法人消費者教育支援センター 首席主任研究員 柿野 成美 氏 ※研修資料や参加者の感想など当日の様子を小学校34校、中学校17校へ送付し、情報共有	参加者13名
	2 消費者教育の担い手育成	8月5日	消費生活相談員	国民生活センター主催などの研修に参加 ・相談員の方向け連鎖販売取引 ・インターネット取引に関する消費者トラブル 消費者トラブル新たなサービスの仕組みとトラブル、法律知識 ・インターネット取引に関する消費者トラブル デジタルプラットフォームが介在するインターネット取引のサービスの仕組み、法律知識 ・消費者事故防止合同研修会 ・個人信用情報に関する消費者懇談会 ・特定商取引取引法関連の消費者トラブル ・島根大学特別講義「消費者法の現在・過去・未来」 ～消費者法と消費者行政のあり方を考える～ ・島根県弁護士会と県内消費生活センターとの懇談会 ・消費生活相談員専門研修（国センフィードバック研修）	9回参加
	3 担い手と教育の場の連携・協働	6月	教育機関	消費者団体取り組み一覧を配布し、市が各種団体と教育現場とのコーディネート役となることを広報する 6月27日松江市立中学校校長会 7月 2日松江市立小学校校長会	2回実施